

産業用機械メーカーのエバ工業(中村研社長)。各種部品を自動輸送する「パレットチェンジャー」やマシニングセンター(MC)の工具を設置するための「ツールマガジン」などを製造している。これら製品は主に工作機械メーカーに納入。モノづくりの生産現場を支える企業の一社だ。同社はことし3月、経済産業省の「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選ばれた。2003年からベトナムで事業を展開。雇用創出、徹底した社員教育を通じて現地でのモノづくりの技術力向上に長年貢献していることが評価された。

(桑名)

先進気鋭

商工会議所・商工会の有力企業

同社が世に送り出すのは、MCなどの工作機械と組み合わせることで、工場生産効率化に力を発揮する製品群だ。部品を一から作る一貫生産が強みで、多様な顧客ニーズに応じた多品種少量生産を得意とする。また、自動車部品も生産している。



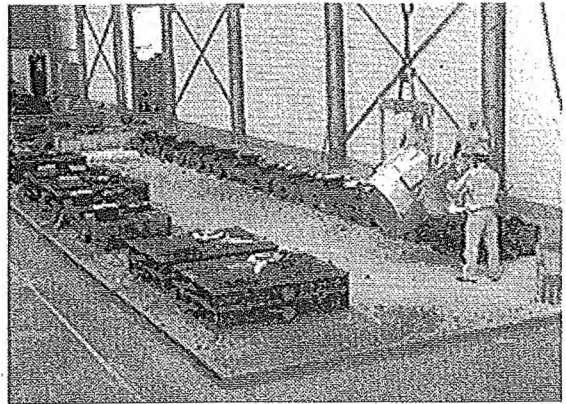
中村研社長

エバ工業

ベトナムで日本式社員教育

技術力向上で現法受注拡大

航空宇宙産業 指定企業に選定も



ベトナム工場では一貫した日本式の社員教育を展開している

競争力を高めるため進出した。100%出資の現地法人を設立した上で、生産工場を建設。工場は溶接、鋳物、塗装、組み立てなどの機能を持つ。現在、340人ほどのベトナム社員が働いている。

<メモ> 本社=三重県東員町瀬古泉339の1▽電話=0594・86・1500▽業務内容=産業用機械や風力発電装置などの部品製造▽売上高=約44億円(2014年5月期)▽中村研社長=桑名商工会議所副会頭

ベトナム工場で生産した部品や製品は、現地に進出する日系企業に直接供給するほか、日本に向けて輸出している。一方、日本の本社工場では、海上輸送でベトナム工場から輸入できない大型製品を主に手がけている。

00社」。評価されたベトナム社員の社員教育は、同社の最たる特徴の一つだ。「モノづくりは人づくり」(中村社長)との考えから、ベトナム進出当初から一貫した日本式の社員教育を展開。徹底した日本語教育と技術教育を行っている。

こうして養成した社員の技術力と製品の高い品質力が、新規の受注獲得に力を発揮。09年には、現地法人が米ゼネラル・エレクトロニクス(GE)と新規取引を開始し、風力発電設備の部品を供給するなど業容を拡大した。ベトナム事業の年商も約14億円と、年々売り上げを伸ばしている。

また、このほど国の「アジアN.O.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の指定企業に選定された。今後成長が期待される産業への事業投資も積極的に行っていく方針だ。